馬塊雄基と福島市の 未来について話す会

前衆議院議員(2期)1992年、福島市育ち、めばえ幼稚園、福島大学附属小・中、福島高校。

2021年の衆議院選挙で、平成生まれとして全国初・最年少の国会議員に初当選。 在任中は環境委員会・復興特別委員会の理事をはじめ、国土交通など幅広い分野の委員会で活動。 福島市の未来を切り拓くため、国会議員を辞職し、市民に寄り添う立場から改革を決意。 挑戦者の立場から、市民目線の政治で「県都福島の力」を最大限に引き出すことを目指す。





・馬場氏の紹介ピッチ ・質問コーナー ・懇親会



